

# 山国川水系流域治水プロジェクト

---

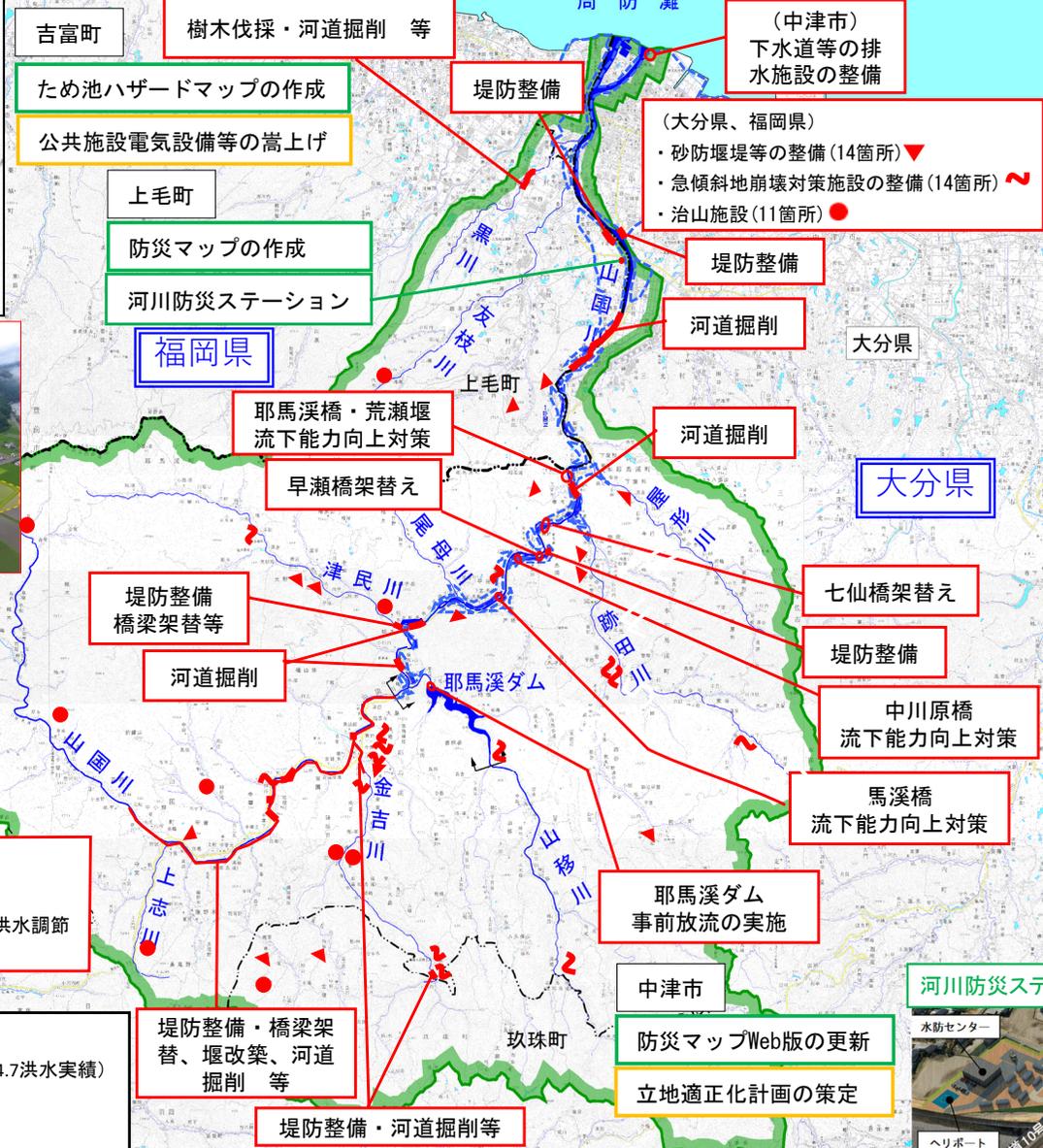
(公表資料)

# 山国川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、全国各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生した。山国川水系は、九州屈指の急流河川で洪水は短時間で流下し、下流部は広大な扇状地が広がるという流域の特性を踏まえ、下流部の堤防整備や河道掘削などの事前防災対策を進めることで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させるなど、あらゆる関係者が協働して流域治水の取組を推進していき流域における浸水被害の軽減を図る。

## 位置図



### ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削・堤防整備、橋梁架替・堰改築 等
- 耶馬溪ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国など)
- 下水道等の排水施設の整備
- 砂防関係施設の整備
- 農業水利施設の整備・有効活用
- ため池の補強・有効活用、水田の貯留機能向上
- 雨水貯留浸透施設の整備
- 森林整備・治山対策

※今後、関係機関と連携し対策検討



### ■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画の策定 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

### ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
- 危機管理型水位計の周知
- ため池ハザードマップの作成
- 防災教育や避難訓練等の実施
- 防災マップの作成
- 河川防災ステーションの整備 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

### ■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

凡例

- 浸水範囲(戦後最大のH24.7洪水実績)
- 浸水想定区域
- 大臣管理区間



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 山国川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

● 山国川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 資産の大きい下流部の洪水被害軽減として、本川下流部の堤防整備、河道掘削等を主に実施する。県管理区間においても、河道掘削や橋梁架替を実施するとともに、河川防災ステーションの整備や砂防関係施設の整備等、流域内の被害軽減を図る。

【中期】 本川中流部の流下能力不足解消のため、河道掘削、橋梁架替え等を実施する。県管理区間においても、引き続き河道掘削や堰改築等を実施するとともに、森林整備・治山対策、流出抑制対策等により被害の最小化を目指す。

【中長期】 本川中上流部の浸水被害を防ぐため、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

■河川対策 (約178億円)  
 ■砂防対策 (約75億円)  
 ■下水道対策 (約40億円)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樹木伐採、橋梁架替等	国土交通省 大分県、福岡県	山国川下流部、津民川	山国川中上流部、金吉川整備	
	内水氾濫対策	中津市、吉富町	橋梁架け替え、堰改築等		
	土砂災害対策	大分県、福岡県	下水道等の排水施設の整備、排水機による強制排水		
		大分西部森林管理署 福岡森林管理署 福岡県、大分県 森林整備センター	砂防関係施設の整備		
	流域の雨水貯留機能の向上	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	森林整備、治山対策		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中津市、(大分県)	水田の貯留機能向上、ため池や農業用排水路の治水活用等		
		吉富町	立地適正化計画の策定		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	大分県、福岡県	公共施設電気等設備のかさ上げ		
	避難体制等の強化	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	危機管理水位計の設置等		
	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	国土交通省 上毛町	防災マップ等の作成、避難訓練等		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	国土交通省	河川防災ステーションの整備		
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	国土交通省、 中津市、吉富町、上毛町	歴史・文化・景観資源の保全、水際環境の創出、重要種等の移植・保全		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	国土交通省、大分県、 福岡県、中津市、 吉富町、上毛町	山国川下流地区かわまちづくり		
			河川協力団体との連携による河川環境保全・啓発活動、民間協働による水源保全活動、小中学校などにおける河川環境学習		

気候変動を踏まえた  
 更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

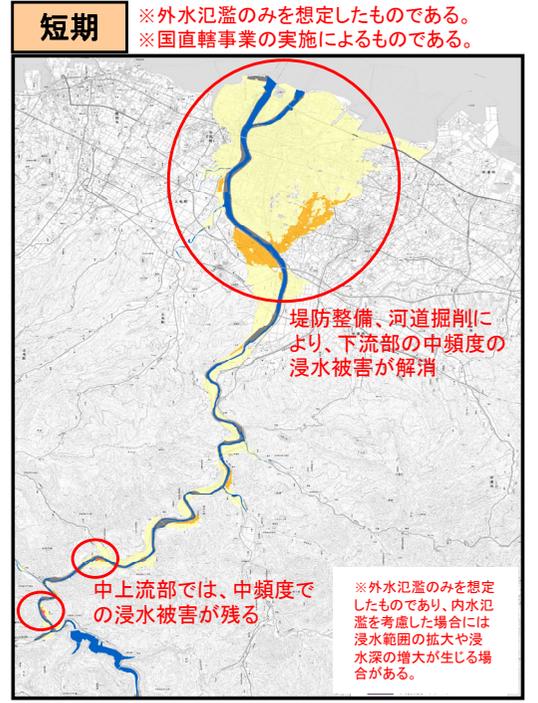
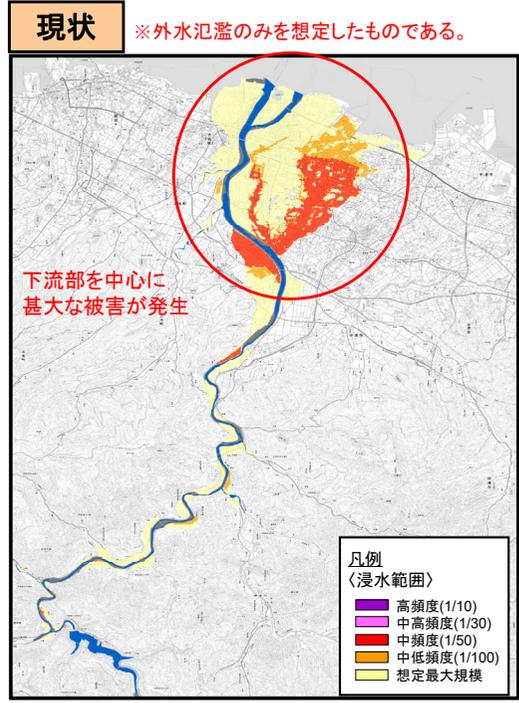
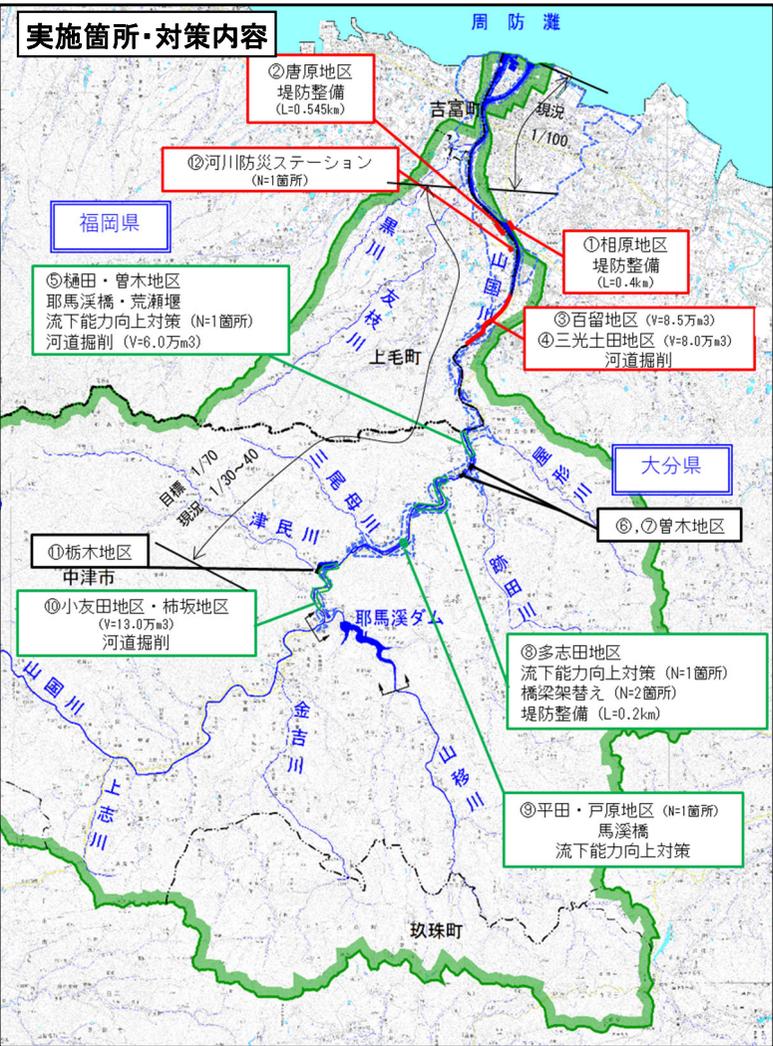


# 山国川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

- 山国川下流部において、堤防整備や河道掘削などの事前防災対策をR7に完成することで、戦後最大の平成24年7月洪水と同規模の洪水をHWL以下で安全に流下させることが可能。
- 河川防災ステーションの整備を完了し流域内の被害軽減を図るとともに、流域全体の治水安全度の向上を図るために山国川中上流部の河道掘削、橋梁架替え等に着手する。

短期整備(5カ年加速化対策)効果：河川整備率 約81% → 約91%



区分	区間	対策内容	短期 (R3年度～R7年度)		中長期 (R8年度～R24年度)	
			下流: 1/20～1/70	上流: 1/20～1/20	下流: 1/70～1/70	上流: 1/20～1/70
関連事業						
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑩防災ステーション	河川防災ステーション	100%	100%		
	下流	①相原	築堤	100%		
		②唐原	築堤、掘削	100%		
		③百留	河道掘削		100%	
上流	④三光土田	河道掘削		100%		
	⑤樋田・曾木	流下能力向上対策、河道掘削			100%	
	⑧多志田	流下能力向上対策、橋梁架替え、堤防整備			100%	
	⑨平田・戸原	流下能力向上対策、河道掘削			100%	
	⑩小友田・柿坂	河道掘削			100%	

- 【短期整備完了時の進捗】
- ・流下能力向上対策
  - ①相原 0% → 100%
  - ・河道掘削
  - ③百留 0% → 100%
  - ④三光土田 0% → 100%
  - ⑩防災ステーション 0% → 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

凡例  
5カ年加速化メニュー: 赤字  
整備計画残メニュー: 緑字

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

# 山国川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率：約91% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>1市町 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>0施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・木末災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 5箇所 (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 0施設 (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市町 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 4河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 0団体 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>洪水 174施設 避難確保計画 土砂 34施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 集計中 (令和4年1月1日時点)</p>
---	--	--	---	---	---	---

### 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



大分県中津市 福岡県上毛町

大井手堰 山国川 恒久橋

山国川下流部は広大な扇状地が広がっており、堤防決壊時には広範囲に洪水が氾濫し、中津市街部等で甚大な被害が発生することとなる。そのため、唐原地区で堤防整備を進めており、山国川下流部の治水安全度向上を進めている。

### 被害対象を減少させるための対策

【参考】中津市立地適正化計画作成までの流れ

令和2年度	1.上位関連計画の整理
	2.住民意向の把握
市内検討委員会	3.都市の現状と将来動向の分析
	4.都市構造の課題の分析
	5.立地適正化に関わる基本的な方針の設定
令和3年度	6.都市機能誘導区域及び誘導施設の設定
	7.居住誘導区域の設定
	8.誘導施設の検討
令和4年度	9.目標値の設定
	10.立地適正化計画書(案)の作成
	11.市民等説明会の実施
	12.立地適正化計画(案)の作成
	13.パブリックコメントの実施
	14.立地適正化計画の策定

～はじめに～ ①立地適正化計画について

(1)立地適正化計画制度の創設

市町村でスタンププランにコンパクトシティを位置づけている都市が増えています。一方で、多くの市町村はコンパクトシティという目標のみを設定していることが多く、何をどう取り組むのかという具体的な実施まで作成している都市は少ないのが現状です。

また、コンパクトシティ形成に向けた取組については、都市全体の観点から、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に加え、公共施設の集約、公共施設の効率的な活用、健康・福祉・中心市街地活性化、空き家対策の推進等のまちづくりに関わる様々な関係機関との連携を図り、それぞれの強みと協力を活かして、総合的に検討する必要があります。

そこで、より具体的な施策を推進するため、平成26年8月に「立地適正化計画」が創設されました。これは、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進しようとしているものです。



都市計画区域  
常設化区域  
居住誘導区域  
都市機能誘導区域

令和2年度から令和4年度にかけて中津市では、立地適正化計画の策定を行っている。都市機能誘導区域や居住誘導区域などの設定や危険区域の検討などを行う予定であり、被害軽減に向けた治水対策の検討を進めている。

### 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



WEBで全編公開

おおいた防災VR

防災意識の醸成や早期避難の促進を目的に、大分県では、令和2年度から災害を疑似体験できる「おおいた防災VR」の運用を開始した。県振興局等で視聴用ゴーグルを貸し出しており、学校や地域の防災訓練等で活用。また「YouTube」で全編を公開している。

# 山国川流域における対策内容

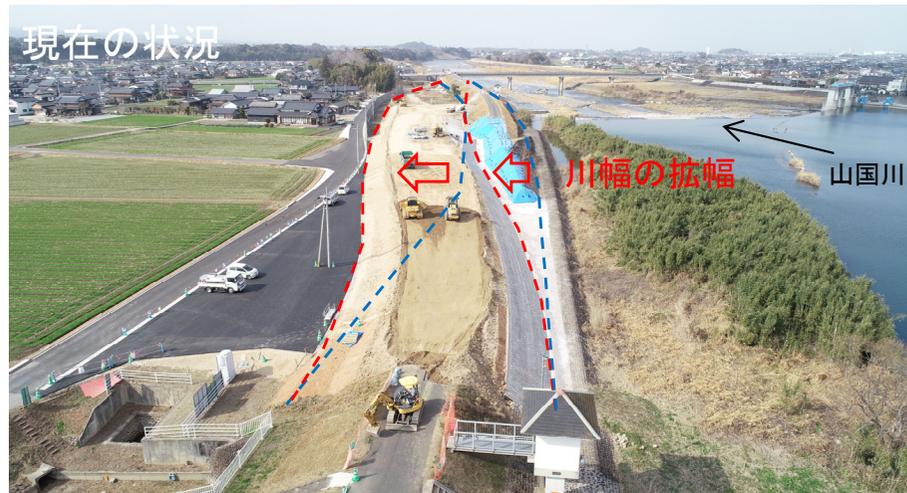
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 山国川下流堤防整備（国土交通省の事例）

- 山国川下流部は広大な扇状地が広がっており、堤防決壊時には広範囲に洪水が氾濫し、中津市街部等で甚大な被害が発生することとなる。
- 現在、唐原地区で堤防整備を進めており、山国川下流部の治水安全度向上を図る。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堤防整備	国土交通省	▶		

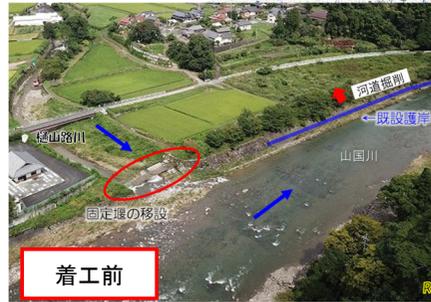
# 山国川水系流域治水プロジェクト【大分県】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 山国川上流における河川整備（大分県の事例）

- 山国川上流部（県管理区間）は、平成24年7月洪水により山国川、津民川などで多数の家屋浸水を含む甚大な被害が発生した。
- 山国川、津民川等で河道掘削や橋梁架替等の河川改修を進めており、治水安全度向上を図る。

### ①河道掘削・護岸整備



着工前



R2末状況

### ②国道付替



着工前



施工中の状況

### ③橋梁架替設計



河道確保に伴う、橋梁の架替設計を実施

### ④橋梁架替・河道掘削・護岸整備

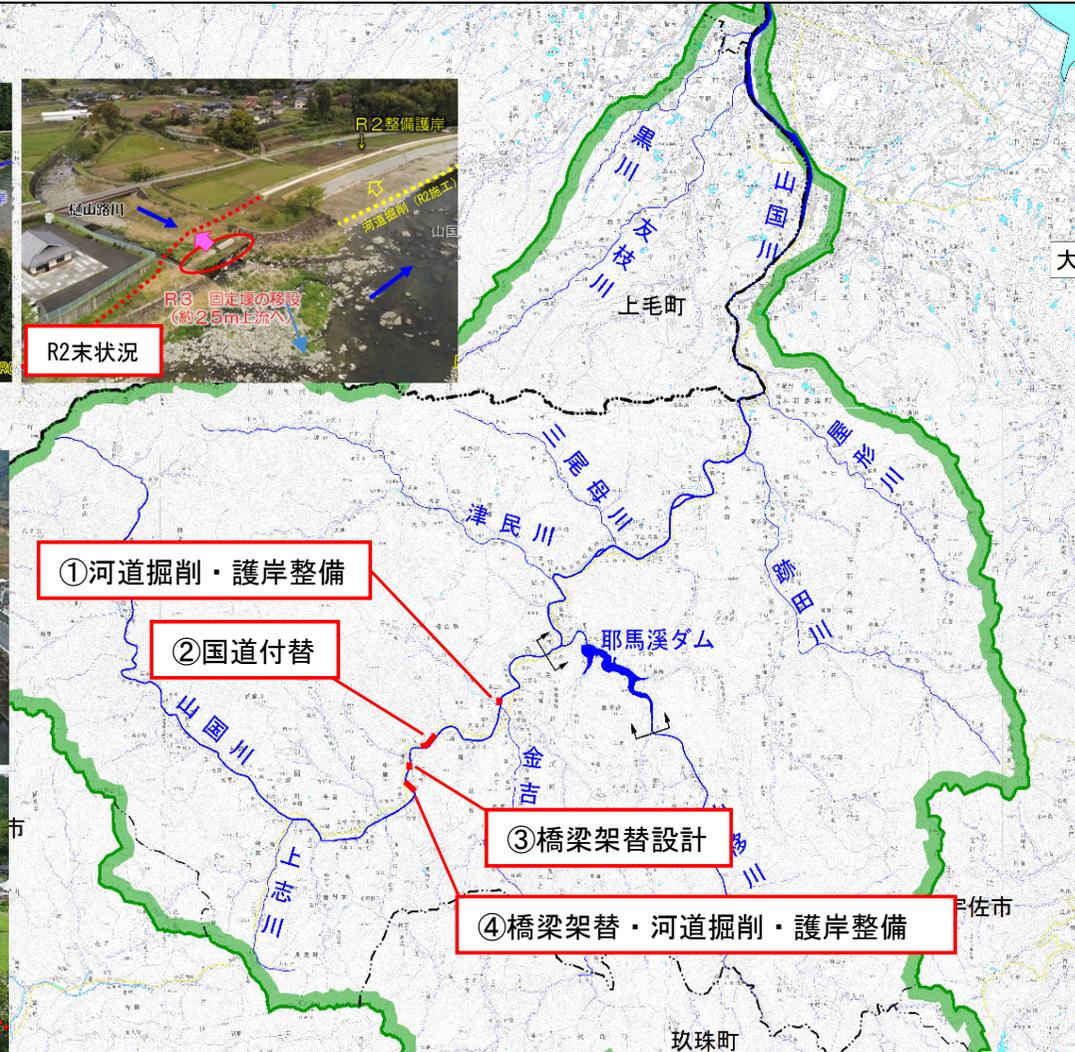


橋梁掛替 (R2.12)

河道掘削 護岸整備

橋梁架替前

橋梁架替後



①河道掘削・護岸整備

②国道付替

③橋梁架替設計

④橋梁架替・河道掘削・護岸整備

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削、護岸整備、橋梁架替、堰改築	大分県	→		

# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 角木雨水ポンプ場整備（中津市の事例）

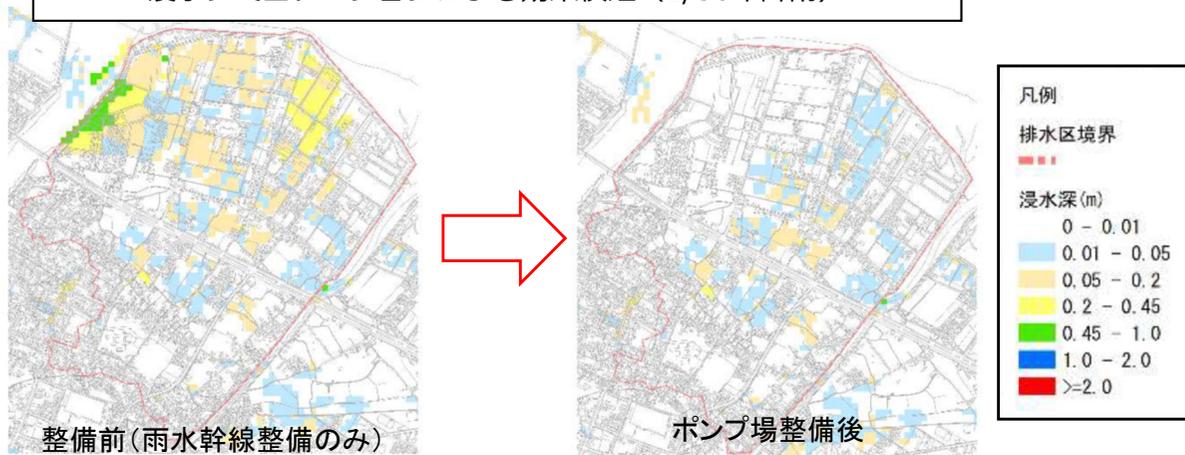
○近年、都市化の進展や局地的な集中豪雨に伴い、中津市の市街地部にて宅地の浸水被害が発生している。そのため、浸水実績・浸水シミュレーションにより区域内でも被害規模が大きく緊急度の高い北部第3排水区の角木雨水ポンプ場及び雨水路の整備を行い被害軽減を図る。



過去の洪水による浸水状況



浸水シミュレーションによる効果検証（1/50年降雨）



角木雨水ポンプ場	
事業期間	令和3年～令和7年
計画排水量	1,208m <sup>3</sup> /分
集水面積	179.7ha
保全家屋数	665戸

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水氾濫対策	下水道等の排水施設の整備 (雨水路整備、雨水ポンプ場整備)	中津市	➡		

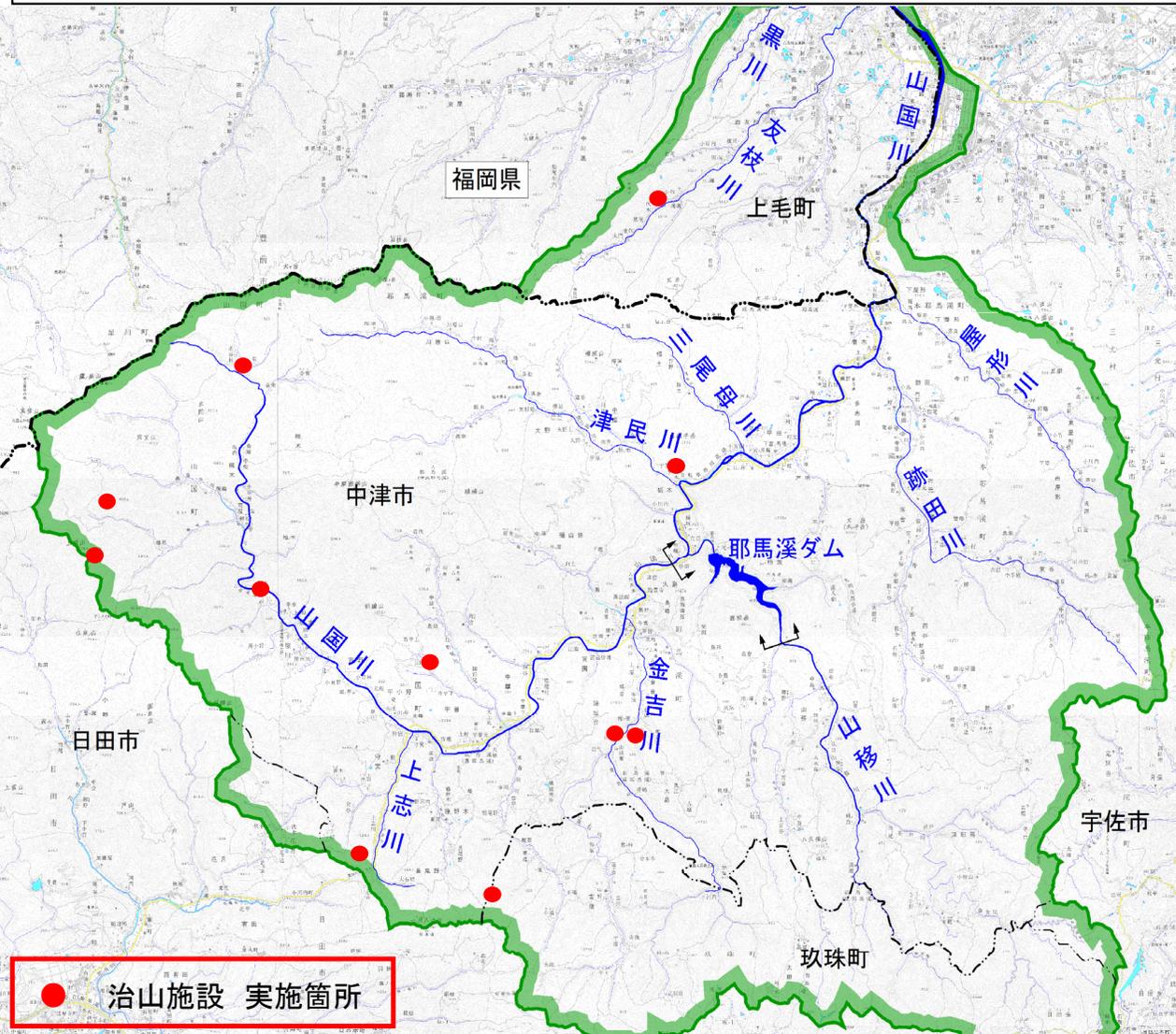


# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

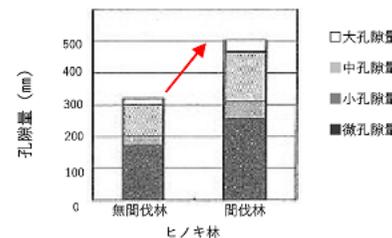
## ■森林整備・治山対策（大分県及び福岡県の事例）

○森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、治山対策等を推進していく。



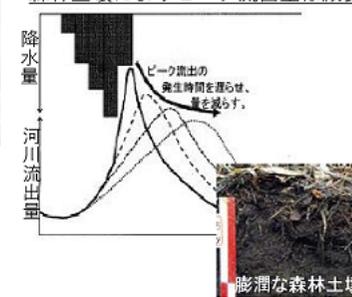
### (参考)森林整備による浸透能の向上効果

間伐の実施で森林土壌の孔隙量が保持



※股部ら「間伐林と無間伐林の保水容量の比較 (2001)」

森林土壌によりピーク流出量は減少



※玉井幸治「森林の持つ『洪水災害の軽減機能』について」山林第1635号 (2020)

### (参考)治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



流木捕捉式治山ダムが流木を捕捉した事例【熊本県球磨村】



治山ダムが山腹崩壊と土砂流出を軽減した事例【大分県日田市】

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備、治山対策	大分県 福岡県	→		

# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

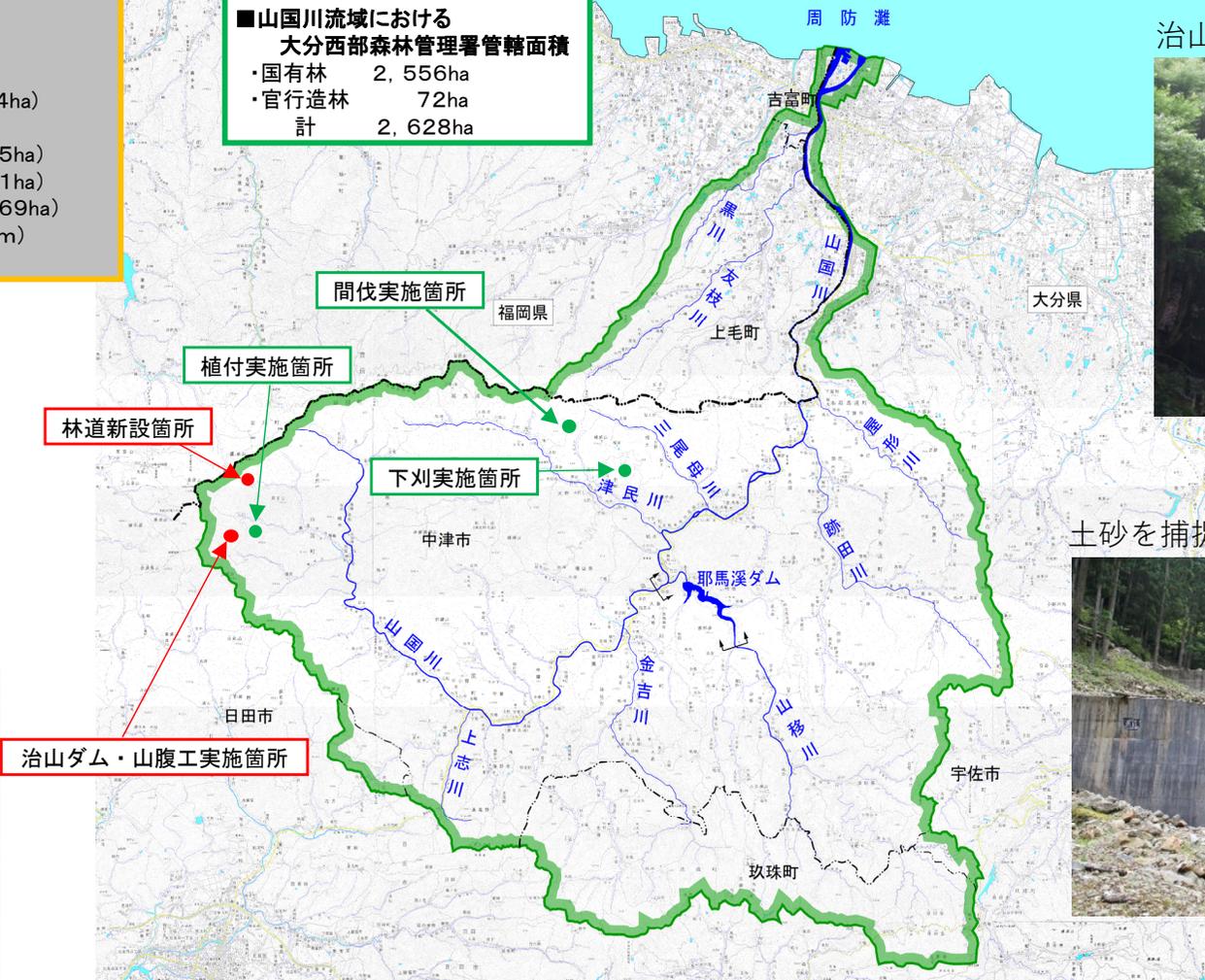
## ■ 国有林野事業における森林整備・治山対策（大分西部森林管理署の事例）

○ 森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、間伐、伐採跡の再造林等の森林整備を推進するとともに、保安林の計画的な配備、治山対策等により森林の適切な管理及び保全を推進していく。

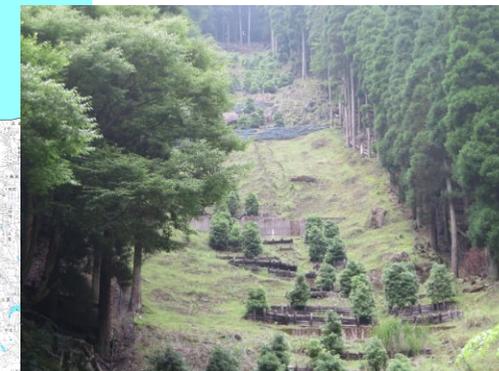
### ■ 流域における対策(令和2年度)

- ・ 治山事業
  - 溪間工(治山ダム) 1基
  - 山腹工 1箇所(0.04ha)
- ・ 森林整備
  - 更新(植付) 1箇所(4.65ha)
  - 保育(下刈) 1箇所(7.31ha)
  - 間伐 1箇所(20.69ha)
  - 林道(新設) 1箇所(503m)

- ### ■ 山国川流域における 大分西部森林管理署管轄面積
- ・ 国有林 2,556ha
  - ・ 官行造林 72ha
  - 計 2,628ha



治山山腹工



土砂を捕捉した治山ダム



間伐後の林内の様子



下刈後の様子

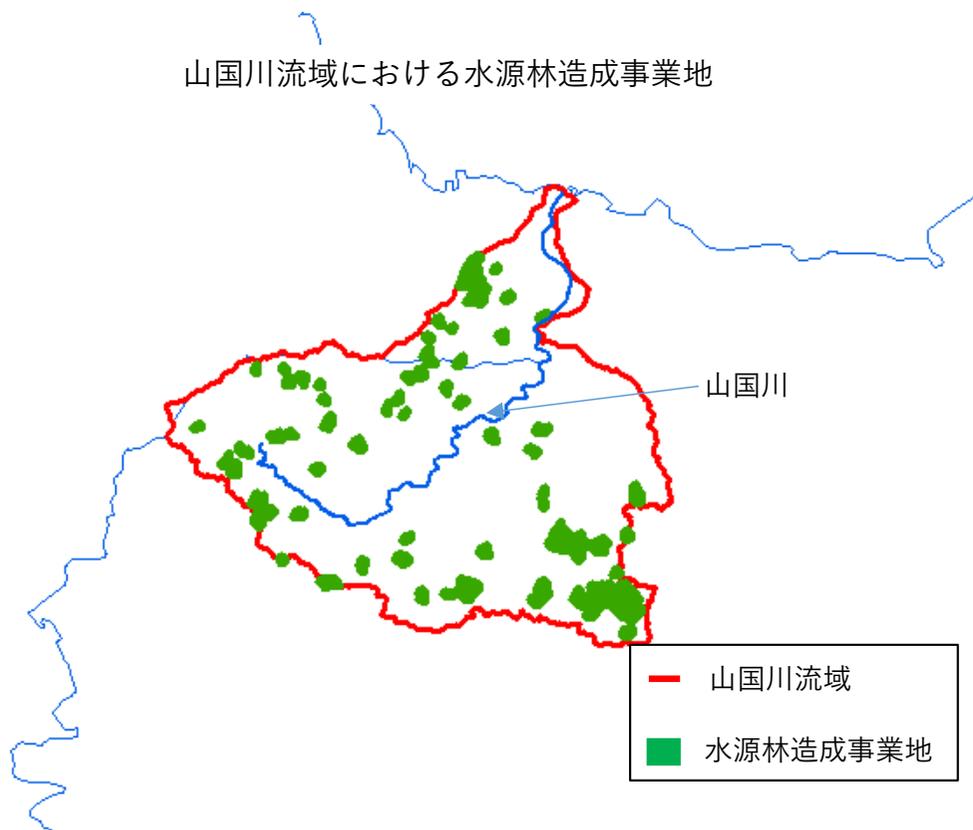
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備、治山対策	大分西部森林管理署 福岡森林管理署			

# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 水源林造成事業による森林の整備・保全（森林整備センター九州整備局における事例）

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進していく。
- 山国川流域における水源林造成事業地は、99箇所（森林面積 約1.2千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	水源林造成事業等による森林の整備・保全	福岡県、大分県 森林整備センター九州整備局	▶		



# 山国川流域における対策内容

被害対象を減少させるための対策内容

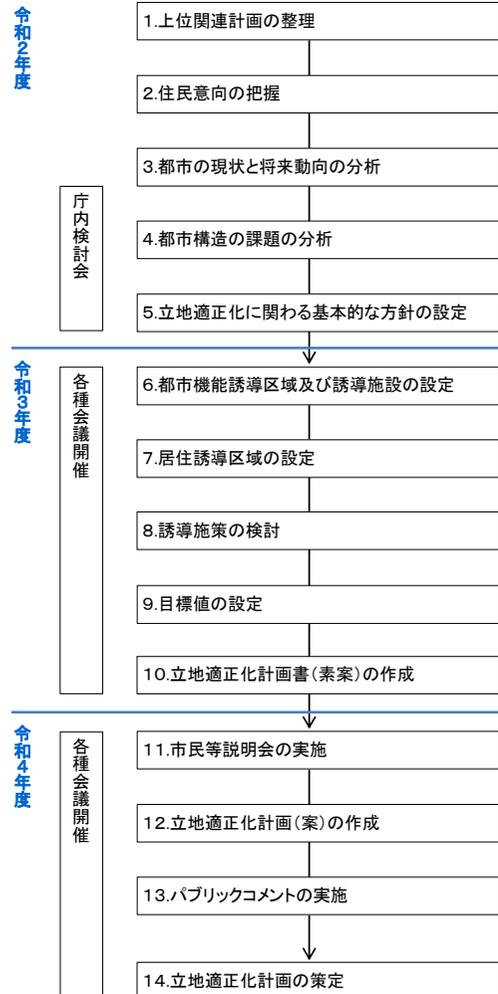
# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 立地適正化計画の策定（中津市の事例）

○土地利用・住まい方の工夫として、立地適正化計画の策定に取り組む。

【参考】中津市立地適正化計画作成までの流れ（案）



都市計画法及び都市再生特別措置法の改正概要(安全まちづくり関係) 国土交通省  
 令和2年6月10日公布

○ 頻発・激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、立地適正化計画の強化など、安全なまちづくりのための総合的な対策を講じる。

◆災害ハザードエリアにおける開発抑制(開発許可の見直し)

- ＜災害レッドゾーン＞
  - 都市計画区域全域で、住宅等(自己居住用を除く)に加え、**自己の業務用施設**(店舗、病院、社会福祉施設、旅館・ホテル、工場等)の**開発を原則禁止**
- ＜浸水ハザードエリア等＞
  - **市街化調整区域における住宅等の開発許可を厳格化**(安全上及び適確上の対策を許可の条件とする)

区域	対応
災害レッドゾーン	開発許可を原則禁止
浸水ハザードエリア等	開発許可の厳格化

◆立地適正化計画の強化(防災を主流化)

- 立地適正化計画の居住誘導区域から**災害レッドゾーンを原則除外**
- 立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める「**防災指針**」の作成
  - 遊歩路、防災公園等の遊歩地、遊歩施設等の整備
  - 空域避難経路の確保等

◆災害ハザードエリアからの移転の促進

- 市町村による**防災移転支援計画**
  - 市町村が、移転者等のコーディネートを行い、移転に関する具体的な計画を作成し、手続の代行等
  - ※上記の法制上の措置とは別途、予算措置を拡充(防災費用移転促進事業の暫定措置(100%・5S等))

◆旧来のレッドゾーン

- 災害危険区域(旧称)、出水等
- 土砂災害特別警戒区域
- 高水害危険区域
- 急傾斜地崩壊危険区域

◆都市再生特別措置法

- 市街化調整区域
- 市街化区域
- 居住誘導区域
- 災害レッドゾーン
- 浸水ハザードエリア等

～はじめに～ ①立地適正化計画について 国土交通省

(1)立地適正化計画制度の創設

○市町村マスタープランにコンパクトシティを位置づけている都市が増えています。一方で、多くの都市ではコンパクトシティという目標のみが示されるにとどまっているのが一般的で、何をどう取り組むのかという具体的な施策まで作成している都市は少ないのが現状です。

○また、コンパクトシティ形成に向けた取組については、都市全体の観点から、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実等に関し、公共施設の再編、国公有財産の最適利用、医療・福祉、中心市街地活性化、空き家対策の推進等のまちづくりに関わる様々な関係施策と連携を図り、それらの関係施策との整合性や相乗効果等を考慮しつつ、総合的に検討することが必要です。

○そこで、より具体的な施策を推進するため、平成26年8月に「立地適正化計画」が制度化されました。これは、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進しようとしているものです。

立地適正化計画制度のイメージ図

都市計画区域  
市街化区域  
都市機能誘導区域  
居住誘導区域

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	中津市、(大分県)	短期	中期	中長期

# 山国川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容







# 山国川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

## ■ 河川防災ステーションの整備（国土交通省、上毛町の事例）

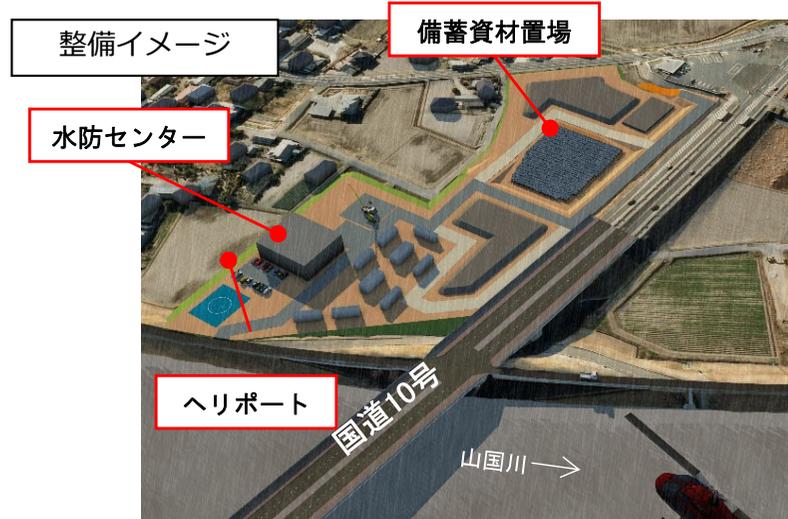
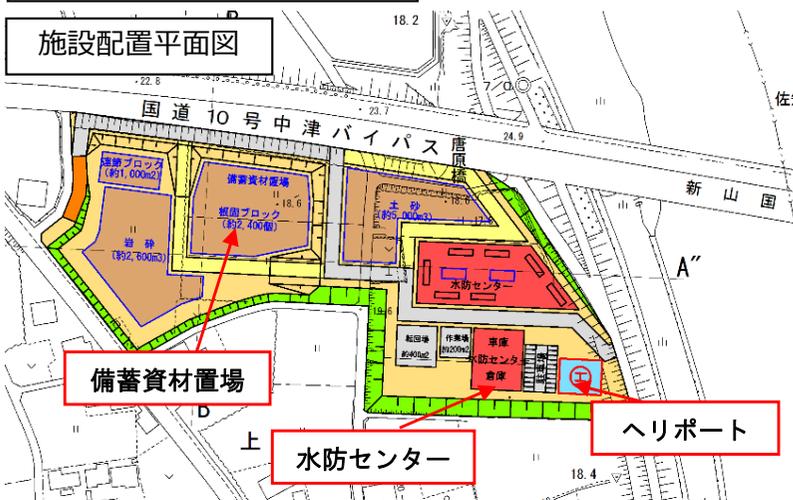
○ 山国川では、平成24年7月洪水で家屋等の浸水被害が発生している。唐原地区河川防災ステーションは、山国川水系の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、上毛町が水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設として、令和2年3月に登録。現在整備を進めている。



H24.7 洪水による被災状況



唐原地区河川防災ステーション



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	河川防災ステーションの整備	国土交通省 上毛町	▶		

# 山国川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～九州屈指の急流河川の山国川における被害の軽減に向けた治水対策及び流域一体の防災対策の推進～

区分	対策内容	小項目	実施主体	工程			
				短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削、堤防整備、樹木伐採	国土交通省 大分県、福岡県	[進捗バー]			
		橋梁架替、堰改築	国土交通省 大分県	[進捗バー]			
		河川整備計画の見直し(準用河川・普通河川)	中津市	[進捗バー]			
	内水氾濫対策	下水道等の排水施設の整備 (雨水路整備、雨水ポンプ場整備)	中津市	[進捗バー]			
		農業用水兼雨水排水路の排水機による強制排水	吉富町	[進捗バー]			
	土砂災害対策	砂防関係施設の整備	大分県、福岡県	[進捗バー]			
		森林整備・治山対策	大分西部森林管理署 福岡森林管理署 福岡県、大分県 森林整備センター九州整備局	[進捗バー]			
	流域の雨水貯留機能の向上	耶馬溪ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	国土交通省	[進捗バー]			
		ため池や農業用排水路の治水活用	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	[進捗バー]			
		水田の貯留機能向上	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	[進捗バー]			
		森林保全の推進による、水源かん養機能の維持	上毛町	[進捗バー]			
		農地保全の推進による、流出抑制機能の維持	上毛町	[進捗バー]			
		水路改修などによる流出抑制対策	上毛町	[進捗バー]			
		一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務付け	吉富町	[進捗バー]			
		公共施設内における雨水貯留施設	中津市	[進捗バー]			
	被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定	中津市、(大分県)	[進捗バー]		
			公共施設電気等設備のかさ上げ	吉富町	[進捗バー]		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	簡易カメラと危機管理型水位計の設置	大分県、福岡県	[進捗バー]		
老朽化した水位計の更新、太陽光発電による防災力の強化			大分県	[進捗バー]			
アプリ、SNS等を活用した防災情報の配信			大分県、上毛町	[進捗バー]			
Yahooとの協定による情報発信の強化			中津市、吉富町、上毛町	[進捗バー]			
あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の充実		氾濫推定図等の公表	大分県、福岡県	[進捗バー]			
		ハザードマップ、防災マップ等の作成・情報追加	大分県、福岡県 中津市、吉富町、上毛町	[進捗バー]			
避難体制等の強化		大分県版マイタイムラインの活用促進	大分県	[進捗バー]			
		おおいた防災VR等を活用した住民の防災意識の醸成	大分県	[進捗バー]			
		避難訓練の実施・支援	大分県、中津市	[進捗バー]			
関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化		河川防災ステーションの整備	国土交通省 上毛町	[進捗バー]			